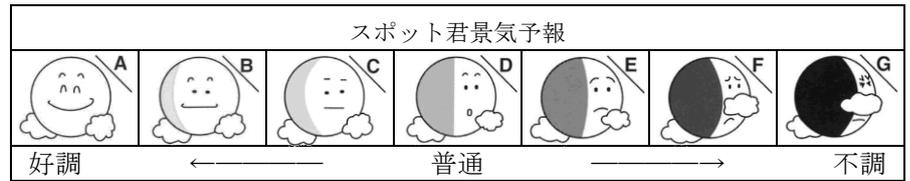


2. 目黒区内中小企業の景況（令和6年1～3月期）

（1）今期の特徴点



製造業



業況は△13.5で前期比1.9ポイント減とやや低調感が強まった。売上額は0.3で10.2ポイント増と増加に転じ、収益は△6.3で2.5ポイント増とわずかに改善し、資金繰りは△16.8で5.9ポイント減と大きく厳しさが増した。来期の見通しについては、業況は9.9ポイント増の△3.6と大幅に持ち直す見込み。

卸売業



業況は△11.6で前期比18.4ポイント増とかなり上向いた。売上額は△6.8で8.1ポイント減と増加から減少に転じ、収益は△16.3で7.6ポイント増と大きく減益幅が縮小し、資金繰りは△9.4で3.7ポイント減とやや厳しさが増した。来期の見通しについては、業況は4.5ポイント減の△16.1と低調感が多少強まる見込み。

小売業



業況は△5.9で前期比0.1ポイント減と前期並の厳しさが続いた。売上額は6.1で7.9ポイント増と増加に転じ、収益は△7.2で12.7ポイント増と大きく減益幅が縮小し、資金繰りは△7.3で7.5ポイント減と厳しい状況に転じた。来期の見通しについては、業況は1.2ポイント減の△7.1と今期同様の悪化幅で推移する見込み。

サービス業



業況は△13.5で前期比8.8ポイント減とかなり低調感が強まった。売上額は1.6で6.1ポイント減と大きく増加幅が縮小し、収益は△5.5で0.1ポイント増と前期並の減益が続き、資金繰りは△7.4で6.2ポイント減と大幅に窮屈感が強まった。来期の見通しについては、業況は3.3ポイント増の△10.2と厳しさが若干和らぐ見込み。

建設業



業況は12.5で前期比0.7ポイント減と前期同様の水準となった。売上額は3.3で4.4ポイント増と増加に転じ、収益は△3.3で20.3ポイント増と極端に改善し、資金繰りは8.4で3.5ポイント減と幾分容易さが縮小した。来期の見通しについては、業況は6.6ポイント減の5.9と好調感が大幅に後退する見込み。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

